

受講生募集

文化庁 2021 年度 日本語教育人材の研修プログラム普及事業

主催：公益社団法人国際日本語普及協 AJALT



難民のための日本語教育

60 単位時間

初任教師養成 オンライン研修講座

後援：国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所

公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部 (RHQ)

日本がインドシナ難民を受け入れてから 40 年余、AJALT の教師は、条約難民、第三国定住難民と、一貫して難民の方々への日本語教育に携わってきました。この講座では、地域に広がる「難民等の背景をもつ方々」への日本語教育・支援について、受講者の皆さんとともに学び、考え、実践に繋げていきます。

多くの皆様にご参加いただけますよう、Zoom によるオンライン方式で講座を進めます。

全国各地からの皆様のご参加をお待ちしております。

■内容：前半の理解編は、主に難民政策、難民教育・支援の最前線にいる専門家、実践家、難民自身による講義やワークショップを通し、難民への知識と理解、共感力を育みます。

後半の実践編は、難民への日本語教育を長年担当してきた教師の下での演習、AJALT が実施している難民を中心とした生活者のための日本語教室、地域の難民のための教室などの実践例紹介や参加等を通し、実践力を養います。なお、カリキュラム内容は『日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)』決定版における「難民等に対する日本語教師【初任】研修における教育内容・目安」に準じます。

http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/kokugo/kokugo_70/pdf/r1414272_04.pdf

■日時：全22回

2021年7月7日～11月6日 毎週水曜日18時～19時半・月1回土曜日13時～16時10分(休憩有)

※但し、「理解編」の第1回、第4回、第5回、第6回、第11回は終了時間が変則的になります。

詳細はプログラム内容をご覧ください。 ※1単位時間=45分

■会場：Zoom によるオンライン講座

■受講料：無料 (なお、資料代実費として 3,000 円程度を予定しております。)

※修了者には修了証をお渡しします。(全講座の80%出席が必要です。)

■定員：70名

■申し込み期限：6月30日(水)

■対象：次のいずれかに該当する方 *なお、2019・2020 年度の同研修の再受講受付はありません。

- ①日本語教育能力検定試験合格者
 - ②大学の日本語教師養成課程修了者/修了予定者
 - ③日本語教師養成講座 420 時間修了者
 - ④ ①②③と同等の能力を有する方
- (応募者が定員を超えた場合は、諸条件を満たした方の中から先着順にて決定いたします。)

■お申込みはこちらから⇒ <https://forms.gle/SVinTAft3eD5TZSm6>

※ご記入いただいた情報は無断で本講座以外の目的には使用いたしません。



理 解 編

※第1回は、受講者の皆様に17時半より18時までオリエンテーションを行いますので、ご出席ください。

※「当事者の声から」については、事前に各自動画をご視聴いただいた上で、当日は、30分ほど質疑応答の時間を設けます。第4回、第5回、第6回、第11回の日は、終了時間が変則的になっておりますので、ご了承ください。

回	月日	水：18:00～19:30／土：13:00～14:30	水：19:40～20:10／土：14:40～16:10(休憩有)
1	7/7 水 ※	日本の難民受け入れとこれから ※初回のみ17:30～	
		磯 正人 難民事業本部 (RHQ) 本部長	
2	7/14 水	世界の難民と UNHCR の役割	
		川内 敏月 UNHCR 駐日事務所副代表	
3	7/17 土	世界の難民の現状	ライフステージと日本語教育 I 移動とライフステージ
		橋本 直子 一橋大学准教授/元国連職員	伊藤 寛了 帝京大学専任講師
4	7/21 水	インドシナ難民への日本語教育	当事者の声から I インドシナ難民として ※20:10まで
		関口 明子 AJALT/RHQ 日本語教育参与	トラン フィ ハン 有料老人ホーム 介護福祉士 ほか
5	7/28 水	条約難民・第三国定住難民への日本語教育	当事者の声から 2 条約難民として ※20:00～20:30
		小瀧 雅子 AJALT/前 RHQ 日本語教育監督者	カディザ ベゴム 早稲田大学大学院/(株)ファーストリテイリング
6	8/4 水	中国帰国者への日本語教育	当事者の声から 3 中国帰国者として ※19:40-20:10
		小林 悦夫 中国残留孤児援護基金理事	小林 悦夫
7	8/11 水	異文化受容と適応-難民と受入社会双方の観点から	
		松尾 慎 東京女子大学教授	
8	8/18 水	難民のメンタルヘルス	
		鶴川 晃 大正大学教授	
9	8/25 水	ライフステージと日本語教育 2 教育現場から	
		柴山 智帆 AJALT/RHQ 日本語教育相談員	
10	8/28 土	母語と日本語の狭間で一言語習得と喪失	難民等の社会参加と母語教育/当事者の声から 4
		野山 広 国立国語研究所准教授	マリップ センブ NPO 法人 PEACE 理事長 マラン センジャ トイ 津田塾大学/NPO 法人 PEACE
11	9/1 水	ライフステージと日本語教育 3 夜間中学から	当事者の声から 5—第三国定住難民として ※20:10まで
		関本保孝 基礎教育保障学会事務局次長/元夜間中学校教諭	ソーベントウ 創価大学/夜間中学卒業生
12	9/8 水	ライフステージと日本語教育 4 就労現場から	
		進藤 久瑠美 (株)ファーストリテイリング 山田 裕亮 (株)パナマシューズ取締役社長 渡辺 りえ WBB 理事 RHQ 呉地域定住支援員	

※スケジュール、受講内容、講師については変更の場合がありますので、ご了承ください。

<次ページの「実践編」へと続きます。>

実 践 編

回	月日	水:18:00~19:30/土:13:00~14:30	土:14:40~16:10(休憩有)	
13	9/15	成人への日本語教育と教室活動		
	水	宮下 しのぶ AJALT/前 RHQ 主任講師		
14	9/22	教材・教具の使い方 RHQ の実践		
	水	有澤 田鶴子 RHQ 担任講師		
15	9/25	初等教育未修了者に対する日本語教育		プロソディ(詩と歌による学び)
	土	内藤 真知子 AJALT/元 RHQ 日本語教育監督者		内藤 真知子
16	9/29	年少者への日本語教育と教室活動		
	水	大久保美子 AJALT/RHQ 担任講師		
17	10/6	難民のための生活日本語教室1		
	水	小形真佐子 AJALT ほか担当講師		
18	10/13	難民のための生活日本語教室2		
	水	担当講師		
19	10/20	難民のための生活日本語教室3		
	水	担当講師		
20	10/27	難民のための生活日本語教室4		
	水	担当講師陣		
21	10/30	オンラインによる生活日本語の学習支援	難民クラスでの自己評価と定住後の評価	
	土	宮下しのぶ・草島純子 AJALT/RHQ 主任講師	新野佳子 AJALT/RHQ 担任講師	
22	11/6	振り返りと課題の共有1	振り返りと課題の共有2	
	土	担当講師	担当講師	

※スケジュール、受講内容、講師については変更の場合がありますので、ご了承ください。